



伊豆の国市立葦山中学校 学校だより

学校教育目標

「明日に希望を持ち今日を頑張る生徒」

重点目標

「かしこく考え やさしく接し たくましく生活する」

葦中だより

住所:伊豆の国市葦山葦山393

電話番号: 055-949-1061

令和元年12月5日発行

第40号

気づき・考え・実行する葦中生で!~青少年赤十字に加盟~

伊豆の国市立葦山中学校校長 手島雅恵



青少年赤十字(JRC)の推進役である巻口さんという方がいます。私の前任校である修善寺南小で赤ペン先生(〇付けボランティア)をしてくださっていたことがご縁で、時おり、お話をする機会を得ていました。巻口さんは静岡市(旧清水市)で校長をされていた方で、大変物腰の柔らかい、温かい先生です。青少年赤十字の活動にぴったりの人物です。先生はちびまる子ちゃんの作者さくらもも子さんや長谷川健太さん(元サッカー選手、現在FC東京監督)を教え、現在でも長谷川監督とは懇意にされています。教え子の当時の話を楽しそうにされているときの先生は「やっぱり教師だな」と思います。

そんな巻口さんが5月に私の所を訪ねて来てくださいました。私は、日頃から、このJRCの精神や実践活動が葦中学校教育目標「明日に希望を持ち、今日を頑張る生徒~かしこく考え、やさしく接し、たくましく生活する~」と重なり合う点がたくさんあり、葦中生にとって有効な取り組みであると考えていました。早速、青少年赤十字に加盟させていただきました。

その後、人と人との輪を広げていく意味合いもあり、私が内山伊豆の国市教育長さんを紹介しました。そこからさらに物事は展開し、今年度、伊豆の国市の幼・保・小・中学校全てが加盟する運びとなりました。現在、加盟している学校数(幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等)は全国で約一万三千校、およそ三百万人を超える人たちが学校を基盤にした活動を行っているということです。

特に何かを新しく始めるということではありません。普段、葦山中で取り組んでいるボランティア活動や生徒会活動内容がすでに青少年赤十字の活動に当てはまるものです。無理なく、活動を推進していけることもJRCのよさでもあります。

先日、巻口さんから生徒会執行部の子供たちに旗が手渡されました。これからも「気づき・考え・実践する」葦中生であり続けてほしいです。葦山中は、保護者や地域の方々にもご支援とご協力をいただきながら、より一層「人として正しいことをし、思いやりのある温かい心づくりを推進していくこと」に力を入れていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。

誓い
わたしは
青少年赤十字の一員として
心身を強健にし
人のためと郷土社会のため
国家と世界のために
尽くすことを誓います



赤十字の父:ジャン・ヘンリ・デュナン





葦山地区子ども作品展

11/16.17の二日間、葦山小学校体育館を会場に、葦山地区子ども作品展が開催されました。両日、家族連れ、地域の方など多くの皆さんが作品を見学してくださいました。「中学生になるとこんな素晴らしい、緻密な作品を制作できるんですね」と感心している方もいました。成長過程もそれぞれの作品を通して感じることができました。



後期生徒総会実施!

後期葦中生徒会の活動方針と活動内容について承認後、「地域の人に愛される葦中生を目標」という議題で話し合いを行いました。クリオン大作戦を地域の方々に知ってもらう活動や登下校を含めた学校の外で意識していくことなどについて、多くの意見が出されました。お互いに遠慮せずに発言し合える雰囲気自分たちの手でという自浄作用につながっていきます。後期、2年生が中心となって葦中を盛り立てていくことを期待します。



今後の自分の進路を考える

写真は、2年生が進路学習「ポスターセッション」をしている場面です。自分たちの周りにはどんな高等学校があつて、そこでは「どんな学習活動が進められているのか」「カリキュラムはどのようなものか」「高校卒業後の進学状況や就職先はどのようなになっているのか」など子供たちも保護者も実は知らないことがたくさんあります。これからの高校選択は「詳しい情報を入力し、その次の段階を視野に入れていくこと」がとても重要になってきます。中学校生活の3年間はあつという間です。学習に真摯に向かつていく自分を確立し、力を蓄え、よりよい次への発進をしてほしいものです。



保護者の方からのご意見・感想 ()年()組() (生徒名)

※体調やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことについても遠慮なくお知らせください。